

平成 2 3 年 3 月

伊東市議会 3 月定例会

一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一 般 質 問 順 序

1 四 宮 和 彦 君

2 土 屋 進 君

3 大 島 春 之 君

4 井 戸 清 司 君

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

本市の公立小・中学校の現状について伺う。

1 児童・生徒の問題行動について

2010年度中これまでに、学校等によって認知された問題行動はどのようなものか、その行動類型、件数等について伺う。

児童・生徒が問題行動に至る原因をどのように考えているか。

個々の問題行動に対して、どのように対応したか。

2 全国学力・学習状況調査における本市の傾向とその後の検証作業について伺う。

平成19年度から現在までに実施された全国学力・学習状況調査における本市の小6・中3の調査内容から読み取れる傾向はどのようなものか。

小6時の調査結果と中3時の調査結果比較等、同一集団における調査結果の変化等の追跡調査は行われているか。行われているとすれば、それはどのようなものか。

公立中学校における問題行動と調査結果との間に何らかの相関関係を読み取ることはできるか。

3 市内小・中学校における児童・生徒指導について伺う。

生徒の問題行動に対応してとられる生徒指導とは具体的にはどのようなものか。

問題行動に対応するためには、客観的かつ明示的な生徒指導ガイドライン等が必要と思われる。生徒指導ガイドラインに相当するものが現在の小・中学校では策定されているか。策定しているとしたらどのような内容か、また、それは公開されているか。

市内小・中学校で実際に起きた児童・生徒の問題行動に対して行われた生徒指導はどのようなものであったか。その中に「懲戒」は含まれるか。

学校教育法第11条に定める「懲戒」とは義務教育課程においてはどのような行為をいうか。

学校教育法第11条ただし書きで禁止される「体罰」とは「有形力の行使」を指すとされるが、「有形力の行使」がすべて「体罰」に該当するとは思われない。体罰の例外となる「有形力の行使」の事例とはどのようなものか。

学校教育法第35条には、教育委員会の権限において児童・生徒を出席停止にできる旨が定められているが、市内で報告されている生徒の問題行動のうちには、同条の「出席停止」の要件に該当する事例が多々あると思われる。他の生徒の学習権を守るためには必要な措置であると思われるが、出席停止の事例は市内にあるか。また、あればどのような事例か。

4 教育指導員制度について伺う。

教育指導員の職務は何か。また、現在までにどのような活動を行ってきたのか。

教育指導員の活動によってどのような成果が得られたのか。その検証作業は行われているのか。また、行われているとすれば、どのような検証結果か。

教育指導員制度は本市独自の制度と思われるが、他の自治体においても類似の制度はあるか。あるとすれば具体的にどのようなものか。

教育指導員の採用基準は何か。また、資格要件は要綱上どのような規定となっているのか。

5 関係諸機関との連携について伺う。

児童・生徒の問題行動に対しては、家庭裁判所・警察・児童相談所等、司法・警察・福祉にかかわる機関のほか、地域団体・NPO法人等の諸団体との連携が重要であることが、文部科学省の発行する「生徒指導提要」にも明記されている。こうした関係機関・団体との連携を学校・教育委員会はどのように考え、どのような連携を図っているのか。

スクールサポーター導入の必要性、有効性についてはさまざまな機会を通じて訴えてきたが、いまだに実現していない。制度導入が進まないことの原因を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 土 屋 進

- 1 庁舎移転後15年が経過し、旧庁舎跡地については、暫定として「松川藤の広場」となっているが、市街地商店街等に隣接していることとあわせ、観光施設や文化財が近隣に存在することなど、まちの活性化の重要拠点と思われることから、伊東市庁舎跡地利用構想審議会の答申を踏まえ、有効活用するための計画を策定する考えはないか伺う。

- 2 伊東八景の一つである「伊東オレンジビーチ」は、観光のまち伊東の誘客にとって重要な資源であり、市街地の活性化に大きな期待がされることから、さらなる整備が早期に必要であると考えますが、いかがか。

- 3 現在、荻地区では、渋滞緩和対策として、県事業により交差点改良を実施しており、今後、東駿河湾環状道路に伊豆中央道が接続すると、本市へのアクセスが飛躍的に向上し、中伊豆バイパスを經由して、荻地区から市内観光施設等への車両通行量が増加すると考えられるが、このことに伴う道路整備の方針について伺う。

- 4 国の記録選択文化財として、本市の「鹿島踊」の調査が進められているが、その進捗状況について伺う。また、本市において、「鹿島踊」を無形民俗文化財に指定していく考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 島 春 之

- 1 教育施設の耐震化は進んでいるが、広域避難場所にも指定されており、耐震性にも問題のある西小学校体育館の改築計画について伺う。

- 2 長引く不況の中、就職できない方々、特に若者に対し、市として支援を行う考えはないか伺う。

- 3 平成23年度は介護保険制度の見直しの年度であるが、介護を必要とする方が適切な支援を受けられる制度となるよう、市としての対応策について伺う。また、入所待機者が多い特別養護老人ホームを増設する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 井 戸 清 司

- 1 競輪事業について、車券売上高が全国的に落ち込んでいるが、今後も単年度黒字を継続していくための具体策について伺う。

J K A 交付金の率を見直す必要があると考えるがどうか。

J K A 交付金の「競輪の運営支援のための経費(一定規模)」は、事業の継続に当たって必要であると考えますが、運営支援経費を確保し続けるためには、どのような策があるか。

交付金の見直しとともに J K A の合理化についても国に働きかけるべきではないか。

- 2 地域農業政策について伺う。

T P P、F T A が国において議論されている中、地域農業の活性化策について伺う。

多様な担い手の掘り起こしと育成が必要であると考えますが、本市において、何か具体策は検討されているか伺う。

企業誘致、雇用の確保の観点から、本市においても農・商・工業の連携が必要であると考えますがどうか。

- 3 スポーツ振興について伺う。

伊東市スポーツ全国大会出場賞賜金制度のさらなる拡充や、条件の緩和が可能かどうか伺う。

各種目別協会が資金面や運営面で苦勞している中で、伊東市体育協会への補助金の増額を検討すべきではないかと考えるがどうか。